

第734回 新潟医学会次第

第734回新潟医学会を下記の要領によって開催致しますので何卒多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成30年10月20日(土) 午後2時から
会場 新潟大学医学部 有壬記念館

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (午後2時～2時30分) 座長 高村 昌昭 先生 (消化器内科学 准教授)

「小腸疾患に対する診療の進歩と未来像」

横山 純二 先生 (光学医療診療部 准教授)

小腸は消化・吸収などを担う消化管の中で最大の臓器であるにもかかわらず、これまであまり注目をあびることはありませんでした。しかし2000年以降、内視鏡技術の進歩により、これまで困難だった全小腸内を内視鏡で観察することが可能となり、小腸疾患に対する関心が急激に高まりました。また、最近では腸内細菌と様々な疾患とのかかわりが注目されています。内視鏡を用いた小腸診療の現状と今後の展望につき概説します。

II. 特別講演 (午後2時30分～3時) 座長 菊地 利明 先生 (呼吸器・感染症内科学 教授)

「感染症における鉄代謝の動態～診断・治療への応用に向けて」

茂呂 寛 先生 (感染管理部 准教授)

鉄はヒトにとって必須の金属元素であるが、同時に細菌にとっても不可欠な栄養素であり、半世紀以上前より知られる感染症に伴う低鉄血症は、細菌の鉄獲得を抑制することによる宿主側の防御能と捉えられる。今回は鉄代謝に関する最新の知見を紹介するとともに、感染症の病態における鉄代謝の動態について自験例を示すことにより、鉄代謝という新たな軸により感染症の病態を見据え、その診断、治療への応用に向け、可能性を模索する。

III. シンポジウム (午後3時～5時) 司会 菊地 利明 先生 (呼吸器・感染症内科学 教授)

「感染症研究の新たな展開」

(シンポジスト)

1. 細菌学からみた非結核性抗酸菌の研究 立石 善隆 先生
(細菌学 准教授)
2. 耐性菌への新たなアプローチ—抗菌薬腎障害の解決 青木 信将 先生
(呼吸器・感染症内科学 助教)
3. 超高齢社会における肺炎入院患者の治療アウトカム
～地域病院での肺炎治療の現状～ 小泉 健 先生
(新潟地域医療学 特任助教)
4. 抗インターフェロノンγ抗体を有する自己免疫性非結核性抗酸菌症について 青木 亜美 先生
(呼吸器・感染症内科学)

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大学院特別講義

大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎致します。参加料は無料、事前申込の必要はございません。自由に御参加下さい。
当日は医学部職員駐車場のゲートが開いておりますので、ご利用下さい。